

統計調査員だより

編集・発行
福島市杉妻町2番16号
福島県企画調整部
次長 長塚 仁一

福島県の人口
令和6年12月1日現在
1,740,165人

「今を知り
未来つくる
統計パワー」

令和6年度「統計の日」標語
小学生の部 特選作品

令和六年度 福島県統計功労者表彰式

福島市において開催

令和六年十一月十九日、ホテルサンキョウ福島において、令和六年度福島県統計功労者表彰式が開催されました。統計関係者十八名に出席いただきました。

はじめに、鈴木正晃副知事から「栄えある表彰を受けられる皆様、誠にありがとうございます。皆様には、長年にわたり、統計調査事業を支えていただき、統計の発展と普及啓発に多大な貢献を賜りました。これまでの御努力と御労苦に対し、深く敬意と感謝の意を表します。県といたしましては、統計調査が円滑に実施できる環境づくりに取り組むと

ともに、誰もが利用しやすい統計情報の提供に努めてまいりますので、皆様におかれましては、引き続き、統計調査事業の推進に御協力を賜りますようお願い申し上げます。」との挨拶がありました。

続いて、国や県が実施した統計調査に長年にわたり従事し、顕著な功績をあげられた方々に対して統計功労者表彰が行われました。はじめに、福島県知事表彰の受賞者に、表彰状が授与されました。次に、総務大臣表彰、厚生労働大臣表彰及び厚生労働省政策統括官表彰の受賞



祝辞を述べる 佐々木 政喜
福島県統計調査員協議会連合会長



祝辞を述べる 山口 信雄
福島県議会企画環境委員会委員長



挨拶をする
鈴木 正晃 副知事



福島県知事表彰を受賞する
豊島 清治さん

者に表彰状の伝達が行われ、その後、福島県統計協会名誉会長表彰の表彰状が各地域の代表受賞者に授与されました。表彰後、御来賓の方々を代表して、福島県議会議長代理の福島県議会企画環境委員会委員長山口信雄様と福島県統計調査員協議会連合会会長佐々木政喜様から祝辞をいただきました。



各表彰を受賞された皆さん

最後に、受賞者を代表して小野町の佐藤大吉様から、「私たちは、統計調査の役割や重要性を認識し、常に精度の高い統計資料を提供するため、日々努力してまいりました。私たち受賞者一同は、今回の栄誉を励みとし、決意を新たに、これからも統計の発展、統計の普及啓発のため、引き続き精進して参ります。」との謝辞があり、表彰式は、厳かな雰囲気の中に終了しました。

統計功労者表彰(敬称略)

福島県知事表彰

〈統計調査員・指導員〉

二本松市 安部 敏弘

伊達市 須賀 五郎

田村市 安瀬 安雄

小野町 佐藤 大吉

白河市 佐藤 雅興

矢吹町 豊島 清治

いわき市 酒井 豊子

生田目伸一

○各種統計調査

〈統計調査員〉

いわき市 永山 重昌

他一名

厚生労働省政策統括官表彰

〈統計調査員〉

会津若松市 浅田 誠

須賀川市 白石ヲサク

本宮市 白藤 晴也

他一名

古殿町

アスター工業株式会社

他一事業所

川俣町

郡山市

磯部 香

伊東まり子

伊藤美喜子

草野佐代子

國分 紀子

佐藤 輝男

高宮義四郎

圓谷 栄子

橋本 康弘

増子 幸吉

森合日左夫

矢吹 正臣

佐藤はるみ

善方 富雄

橋本 和昭

村上 信一

小野町

白河市

安藤 正勝

鈴木 實

棚倉町

磯部 征子

大竹 哲也

三浦信一郎

室塚 和一

喜多方市

齋藤 正昭

山ノ内紀男

五十嵐和子

喜多見 勉

相双地域

相馬市

上田 佳子

丹野 吉男

稲垣 博

南相馬市

軍司 昇

榎葉町

鈴木 泰子

葛尾村

松本 順子

秋山登志子

萩 和弘

菅野 彩

久保 和子

永井 隆

野崎三津雄

山野辺英尚

吉田 昌繁

他六名

いわき地域

いわき市

萩 和弘

菅野 彩

久保 和子

永井 隆

野崎三津雄

山野辺英尚

吉田 昌繁

他六名

農林水産大臣表彰

○2023年漁業センサス

〈海面調査員〉

いわき市 中野 聡

須賀川市

佐藤はるみ

善方 富雄

橋本 和昭

村上 信一

小野町

白河市

安藤 正勝

鈴木 實

棚倉町

磯部 征子

大竹 哲也

三浦信一郎

室塚 和一

喜多方市

齋藤 正昭

福島県統計協会名誉会長表彰

〈統計調査員・指導員〉

福島市 黒津 久子

齋藤 和美

佐藤ひろ子

鈴木 行男

田邊 敏夫

丸谷 賢治

渡邊 善一

佐藤 貞夫

伊達市 勝正

本宮市 勝正

桑原 政行

渡邊 康一

猪苗代町

五十嵐和子

喜多見 勉

○家計調査

〈統計調査員〉

福島市 真田 千夏

菅野 彩

清水 恵子

富国生命保険相互会社

福島支社安積営業所

株式会社

いわき市

株式会社永谷園フーズ

サンフレックス泉工場

須賀川市

株式会社

株式会社

株式会社大塚ポリテック

福島製作所 大越工場

○労働力調査

〈統計調査員〉

郡山市 桑名喜久子

菅野 彩

清水 恵子

医療法人慈主会

すがのクリニック

株式会社

郡山市

アサヒガード株式会社

本社

郡山市

株式会社阿部紙工

本社・本社工場

福島市

株式会社

福島市

福島市

○令和五年住宅・土地統計調査

〈統計調査員〉

白河市 邊見 錠司

松浦百合子

伊達市

幕田 毅

伊達市

鈴木 榮

柳津町

他一名

他一名

他一名

他一名

他一名

他一名

他一名

他一名

他一名



受賞者を代表して謝辞を述べる 佐藤大吉さん

令和六年
叙勲受章
おめでとうございます

長年にわたる統計調査への御功績により五名の方が叙勲受章されました。
(敬称略)

春の叙勲

●瑞宝双光章
浪江市

佐々木保彦

統計調査功労

(工業統計調査員)

●瑞宝単光章
福島市

瑞宝単光章
福島市

作山 協子

統計調査功労

(各種統計調査員)

秋の叙勲

●瑞宝単光章
福島市

七島 英子

いわき市

清水 恵子

統計調査功労

(各種統計調査員)

西郷村

田邊 敏捷

統計調査功労

(農林業センサス調査員)

**都道府県別
登録調査員研修を
開催しました**

九月二十五日に福島市の福島県庁本庁舎で開催された研修には、三十五名の登録調査員の参加がありました。

県統計課より統計調査の概要についての説明があった後、「オンライン調査デモ版操作実演及び実習」を実施し、講師がオンライン調査デモ版の実演を行い、参加者もオンライン調査デモ版の一部を実習しました。また、株式会社

ビジネスアップ総研より「統計調査に必要な応接・マナーについて」の講義がありました。参加者からは、「調査時だけではなく、普段の接客の際にも大切なポイントだと実感している。」「ラポールの定義はよかった。」等の感想がありました。

※ラポールについては、下に掲載しました。最後に、参加した調査員で「調査を断られた時の方法」等をテーマに六〜八人の班に分かれ、班別討議を行いました。班内では、活発な意見交換が行われ、「訪問時に何度

か声かけを行う。再度訪問する旨のメモを置いて、再訪問する。」や「話を受容し、都合の良い日時を聞いて日を改める。笑顔で対応する。」といった内容の発表がありました。お互いの悩みや実際にあった内容などを直に話し合うことができ、有意義な研修になりました。

**令和七年度に行われる
統計調査を紹介します**

〈国勢調査〉

国内の人及び世帯の実態を把握し、各種行政施策その他の基礎資料を得ることを目的としている。五年に一度の最も重要な統計調査です。

第一回調査は大正九年に行われ、令和七年調査は二十二回目に当たります。

調査時のワンポイント

都道府県別登録調査員研修で教わった「ラポールの実践方法を紹介します。」

①ペーシング
ラポールとは、自分と相手の間に「相互信頼の関係」をつくることです。

相互の心が通い合い、安心して自由に振る舞ったり、感情の交流をおこなえる関係が成立している状態です。

そのためには**受容・共感・傾聴**が大切です。

②ミラーリング
相手の視覚情報(姿勢・座り方・ジェスチャー・表情など)を合わせる。

③バックトラック
「へりかえし」「オウム返し」のこと。
特に相手が話した事実・内容・感情を反復し、適宜要約をする。

④傾聴
あいつちも効果的にできることよ。
相手に「この人は自分のことをきちんとわかってくれている」という安心感や共感を与えることができる。

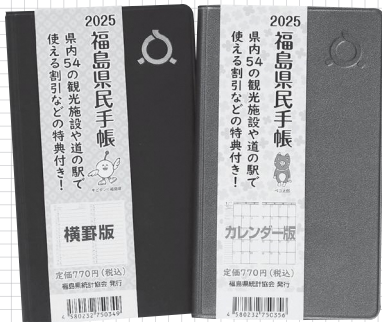
都道府県別登録調査員研修 講義②「統計調査に必要な応接・マナーについて」から引用

令和7年度統計調査事業一覧

実施主体	調査名	調査時期
総務省	労働力調査	毎月
	小売物価統計調査	毎月
	家計調査	毎月
文部科学省	学校基本調査	5月1日
	学校保健統計調査	4~6月
厚生労働省	毎月勤労統計調査	毎月
総務省	国勢調査	10月1日
福島県	現住人口調査	毎月
	鉱工業指数調査	毎月

福島県民手帳

大好評
発売中!!



規格: 8cm x 14cm
252ページ

定価 **770円**
(税込)

お申し込みは **福島県統計協会(電話 024-521-7143)**

調査員のひろば
「統計調査に携わって」

柴原 敏夫

(南相馬市)



私は、統計調査に永く携わっていた叔父に勧められて、平成二十四年に南相馬市統計調査員協議会に入会しました。

最初に担当したのは「労働力調査」でした。

統計調査に対して何の知識も無く不安でしたが、県職員の方が丁寧にレクチャーをしてくれたのと、担当した地区が郡部で比較的高齢の方が多くフレンドリーに面談でき、スムーズに調査を終えられたことが十年以上ものあいだ調査員を続けてこられた秘訣と

思っています。

今、統計調査員の不足が当市でも深刻な問題になっています。

当市では、事務局の尽力で事無きを得ていますが、何か業務の合理化が必要だと思えます。調査票の回収面では、オンラインや郵送での回答と合理化がなされていますが、事前準備作業にも何か簡素化出来るものはないのかと思います。

調査で一番ネックになっているのは、アパートの住人です。これは全国共通の問題だと思えますが、当市には、ワルムのアパートが数多くあり、そこから復興関係の業務のため、近隣の市町村にある事業所に通勤している人が多数います。通勤距離が長く、単身者で、朝夕の食事は事業所の食堂でとるため、朝は五時前に出て、夜は十時頃の帰宅になり、また、土・日曜日は自宅に帰るので、ほぼ面談は出来ず、手製の回答依頼書を三回郵便受けに投函します。全員は回答してくれませんが、六割程度はオンラインで回答してくれます。完全に回答が得られる方法はないものかと思案中です。

調査をしていると、快く協力していただいた時の喜びや、回答を何度もお願いしても協力を得られなかった時の寂しさや色々ありますが、自分の調査した計数が国の政策づくりに役立っているの思いと、調査作業を通じた心身の健康維持の為に、今後も続けていきたいと思っています。

高橋 隆夫

(柳津町)



私が初めて統計調査員になったのは、今から十八年前、前任者からの依頼で引き受けたのがきっかけです。最初は不安と緊張の連続でした

が、今では調査員として、統計の活かされている重要性を認識し、一つひとつの調査を正確に確実にを行うよう心掛けています。

これまで農林業センサス、国勢調査、経済センサスなど様々な調査に指導員、調査員として従事してきました。近年、統計調査を取り巻く環境は大きく変化しているように感じております。特に、個人情報保護法によるプライバシー意識の高まりにより、協力意識の低下や、夫婦共働き世帯によ

る不在世帯の増加など、調査員として多くの時間を費やす傾向にあるように思っています。

来年は国の基幹統計調査である国勢調査が実施されます。国勢調査は、国の人口や世帯の実態を把握するための調査であり、政策を立案するため非常に重要な役割を果たしています。調査員として、調査対象者へ分かりやすい説明と丁寧な対応で正確な情報収集に努めて参ります。また、高齢者への調査票の記入支援が必要な場合は、聞き

取りの記入に間違いのないよう十分に注意し、若い世代にはオンライン回答を推奨するなどして効率よく実施していきたいと感じております。

今後も、統計調査の重要性を認識し、よりよい町づくりのための基礎データ作りに貢献していきたいと思えます。調査員としての経験を活かしながら、地域の皆様との信頼関係を大切にして活動を続けてまいります。

近藤 正博

(棚倉町)



私が初めて統計調査に携わったのは、平成二十七年の国勢調査です。きっかけは同地域に住む統計調査員から一

体の調査を崩したため統計調査の仕事を引き受けてもらえないか」と相談があり、かつ知り合いの統計調査員のすすめがあったことです。私自身今まで統計について関心がなく、どんな仕事をするのだろうか、統計と聞くだけで難しく思い、私にできるだろうかかと不安になりました。同地域のこともあり、何か分からない事があるばアドバイスします、との事で引き受けました。国勢調査においては戸惑うこともありましたが、先輩調査員や役場担当者の助言を頂きながら無事

に調査を終えることができました。今日に至るまで、多くの統計調査の仕事をさせて頂きました。特に感じたことは、訪問において、自分を知ってもらい相手から信頼されることでスムーズに対応できることがわかりました。また、統計調査においては年々調査項目が細かくなっており、回答する方の負担になっているのではないかと思えます。特に個人情報の意識の高まりもあり、必要とする調査の回答が得られないことがありました。

正確に調査を行うことにより、国の基礎資料となりますので丁寧な説明し回答を頂けるように努めております。自分自身まだまだ勉強不足のところもあり、毎年実施されている統計調査員研修会に参加させて頂き、学んだことを少しでも力にできるよう取り組んで参ります。